

経営学部 経営学科

教育目的

近年における経済のグローバル化、情報化社会の進展、ひとびとの価値観の多様化は驚くばかりである。社会・経済構造はいつそう複雑となり、企業経営のありようも大きく変容している。

このような激変する環境下にあつて、情報を集め、問題を発見し、分析し、解決案を創りだし、決定し、実践し、成果をえるためには、多様かつ高度の専門的知識や能力が求められる。加えて、それらの知識や能力の基盤となる幅広い教養、すぐれた倫理観が不可欠である。

経営学部経営学科では、経営全般にかんする専門知識、幅広い教養、すぐれた倫理観を基礎に、さまざまな課題に積極的に取り組むことができるチャレンジ精神旺盛な人材の養成、とりわけ次代を担うビジネスパーソンの養成を教育の目的とする。

到達目標

経営学部経営学科は、4年間の学修を通じてすべての学生が修得してほしい3つの到達目標を掲げている。

この3つの目標は、ひとりひとりの学生がそれぞれの夢を具体化し、将来の進路を明確にし、卒業後社会においてしかるべき役割を果たし、社会に貢献できるための基礎となるものである。達成してもらいたい目標は以下のとおりである。

1. 建学の精神、「和」の心をよく理解し、社会人として求められる倫理観を身に付ける。
2. 社会人として求められる基礎知識や能力、すなわち企業が学生に実際に求めている能力である「就職基礎能力」を身に付ける。
3. 学生各人が学修した経営学の専門領域をもとに、現代社会に対する課題探求心を持ち、自分の考えを表現し、実行する能力を身に付ける。

履修の仕方

1・2セメスターは、建学の精神を理解するための基礎教育科目、幅広い教養を深めるための共通教育科目、経営学を体系的に学ぶための土台となる専門基礎科目を中心に履修する。また、新たな学修環境に慣れ、4年間の学修をデザインするために「基礎演習」を必修科目として設けている。

3セメスターからは、マネジメントコース、会計ファイナンスコース、ビジネス法コースから1つを選択し、各コースの専門教育科目を中心に学修を進める。5～8セメスターでは、学生が選択したコースにおいて、自身が学修する分野を専門とする教員の担当する「経営学演習」「民法演習」を継続的に履修する。さらに、倫理観の向上を図るための選択必修科目も設けている。

さらに、就職基礎能力の向上、資格取得支援のためのキャリア関連科目も1セメスターから設けており、5セメスター以上の学生で一定の条件を満たした者には、希望すれば企業へのインターンシップも用意している。